

## 修正表(変更)

(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

(特非)全国要約筆記問題研究会

「難聴の程度」につきまして、下記の通り修正いたします。

## 【上巻】

	修正箇所	現	修正
P.6	難聴程度の区分表	(難聴の程度) (平均聴カレベル) 軽度難聴 25~50dB 未満 中等度難聴 50~70dB 未満  (難聴の程度) ろう	(難聴の程度) (平均聴カレベル) 軽度難聴 25~40dB 未満 中等度難聴 40~70dB 未満  (難聴の程度) 重度難聴

## 修正(変更)の理由

- ・本テキストの発刊時は、軽度難聴と中等度難聴が50dBで区分されることが多く、難聴の程度区分では、「ろう」の用語が用いられていました。
- ・日本聴覚医学会が、2014年に難聴(聴覚障害)の程度区分として、軽度難聴と中等度難聴の区分を40dB、平均聴カレベル90dB以上を「重度難聴」としました。  
<https://audiology-japan.jp/iinkai-infomation/>
- ・難聴の程度区分に関わって国が明示したものはなく、本テキストでは、今後、日本聴覚医学会の難聴(聴覚障害)の程度区分を用います。